

【東京都写真美術館】 指定管理者提案書類(事業計画書) 概要

1. 管理運営の基本方針

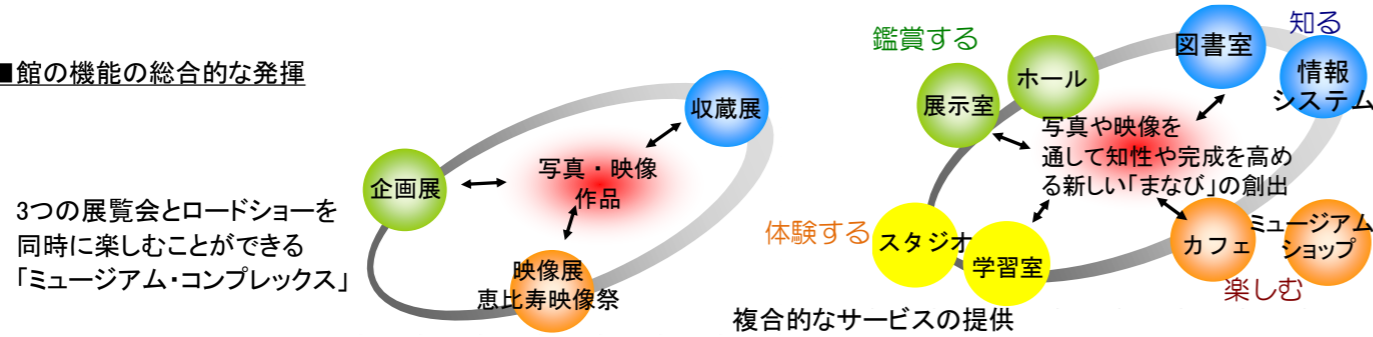
■基本方針

《ミッション》  
わが国唯一の写真・映像の総合美術館として、センター的役割を担う存在感のある美術館を目指す

《ビジョン》  
写真・映像分野の世界のトップ美術館を目指す  
写真・映像を通して世界と行き交う、世代が行き交う、互いの違いを受け入れあう、未来型美術館を目指す

1. 世界有数の写真・映像コレクションの構築と、世界への発信
2. 写真・映像の可能性に挑戦する新進作家の支援
3. 来館者につねに感動を与える美術館
4. 来館者の立場に立った開かれた美術館
5. 過去と現在、先端技術と芸術文化が融合する領域横断的なフェスティバルの実施
6. 未来に向けた文化の継承：貴重な作品を次世代へ継承

■館の機能の総合的な発揮



■東京文化ビジョンの実現に向けた取組

- 文化戦略1** 世界各都市との連携により恵比寿映像祭を国際映像祭へ
- 文化戦略2** 芸術家や都市開発事業者、NPOなどと協力し、芸術文化拠点の一層の魅力強化策を推進。日本の観光情報発信地として外国人観光客の利用を促進
- 文化戦略3** 創造性豊かな人材の育成、優れた作品の鑑賞やワークショップにより子供たちの感性や才能を育成。ウェブによる収蔵品画像の配信
- 文化戦略4** 将来性のある作家の発掘、創造活動の場を提供。「日本の新進作家」展として国内外でアピール
- 文化戦略5** 国際共同企画、海外美術館との交換展、巡回展、ワークショップやシンポジウムの実施、相互交流の活発化

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた運営戦略と取組

- ・一過性ではなく持続可能であり、日本の文化政策に貢献する事業の実施
- ・全ての展示会事業において教育プログラム、ワークショップ、ギャラリートーク等を開催

|  |   |
|--|---|
| 日本の代表的作家の個展<br>・最も旬なアーティストを世界へ発信                             | 映像部門強化<br>・映像作品収集の充実、分類・整理・保管等に関する調査・研究、展示会の企画立案、鑑賞教育・ワークショッププログラムの開発、専門人材の育成等                                  |
| 日本の新進作家のグループ展<br>・新進気鋭のアーティストを世界にアピール<br>・日本での開催だけでなく、海外でも紹介 | フェスティバル(恵比寿国際映像祭(案))<br>・海外都市との芸術文化交流、国際的な競争力の向上<br>・様々な人が映像に親しめる展示<br>・地域連携・街づくりへの貢献<br>・若手芸術家の発掘、交流・国内外への情報発信 |
| 国際ネットワーク事業<br>・今もっともホットな表現、世界が直面しているテーマに関する国際展               | おもてなし<br>・開館時間の延長、多言語案内、Wi-Fi整備、映像作品の鑑賞教育や楽しみ方の提案   |

■国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)

|    |  |     |  |
|----|--|-----|--|
| 海外 | 国際会議・美術展参加、研究者等の受入、アジアにおける写真のハブ美術館としてのコンサルティング | 地域  | 恵比寿映像祭での地域連携、あ・ら・かるちゃー渋谷・恵比寿・原宿文化施設運営協議会           |
| 国内 | 日本で唯一の写真・映像の専門美術館として他館への協力、委員会や普及事業等参加・協力      | 財団内 | 収蔵品の活用、ノウハウ共有、情報交換、オリンピック・パラリンピックに向けた連携事業、教育普及連携など |
| 都内 | スクールプログラム、高校生ボランティア                            |     |  |

2. 事業に関する業務

- 作品・資料の収集**  
・25年以上積み上げてきたコレクションの調査研究に基づき、国内外ネットワークを活用し良質な作品をより効率的に収集
- 作品・資料の分類整理、記録及び保管等**  
・効果的な分類整理、保存科学研究に基づく作品保全  
・展示会や貸出等で公開し、次世代へ引き継ぐ
- 資料等に関する情報提供**  
・情報システムにより館内コンピュータ及びホームページで情報提供、プリントスタディールームでの作品閲覧、図書室での資料公開・普及
- 調査研究**  
・対象：コレクション、作家、写真史・映像論、保存科学等  
・手段：学会等への参加、ネットワーク構築、館外研修等  
・成果の還元：展示会・教育普及事業、図録、報告書、学会発表、大学での講義、賞の審査等
- 展示会**  
・感動を与える ・いつ誰が来ても楽しめる事業ラインナップ  
・全て企画展 ・経験豊富な専門学芸スタッフ  
①収蔵展：コレクションを活用し、独自の視点による企画  
②自主企画展：自主財源や企業等の協賛金を活用し多くの都民に親しまれる多様な切り口を提示  
③誘致展：新聞社等と協力し話題性のあるテーマを設定、旬の作家紹介、写真・映像愛好家参加型コンテスト展等を実施
- 教育普及活動**  
・人々の「主体的なまなび(アクティブ・ラーニング)」を重視
- その他の事業**  
・映画上映(1階ホール)：美術館で見る映画シリーズとしてドキュメンタリー映画、写真・アート関連作品等を上映
- 人材の育成**  
・新進作家：作品発表の舞台提供、レビューの実施  
・学生・研究者：博物館実習、インターンシップ、大学等教育機関への人材派遣、教員対象の研修会の実施
- 館の事業を支える仕組み**  
○広報：季刊誌「eyes」、別冊「nya-eyes」、プレス内見会等により写真・映像文化の普及と都民への説明責任を果たす  
○パスポート導入：旧友の会より価格面での特典を強化  
○ボランティア(一般、高校生)：活躍の場、やりがい、居場所の創出、協調性、責任感、異年齢間の交流を創出  
○外部意見等：専門家や一般来館者の意見を取り入れ反映  
○ニーズの把握：顧客満足度調査・非利用者調査の実施  
○外部資金の導入：支援会員の加入促進、展示会の後援・協賛・協力の獲得

3. 館の運営に関する業務

- 休館日及び開館時間**  
・夜間開館、正月特別開館、ゴールデンウィーク等の臨時開館実施
- 施設及び付帯設備貸出し**  
・展示室、ホール、創作室：美術館としての活動に支障を来さない範囲で貸出し、写真・映像文化の総合的な発展に貢献
- 館内サービス**  
・安心：急病人対応、エレベーター設置、授乳室設置  
・バリアフリー：点字ガイド、筆談用ボード、車椅子サポート  
・外国人へのサービス向上：英語表記、スタッフの英語対応  
・パスポート制度 ・ミュージアムショップ、カフェの運営  
・ホスピタリティをもった、スタッフの顔の見えるサービス  
・お客様からの意見・苦情への迅速な対応



カフェ・ショップ (イメージ図)

4. 組織及び人材

- ・幅広い分野の高度な専門性を有する職員を配置
- ・芸術・文化の創造・発信をリードして行く気概を持った職員の育成、組織風土の醸成
- ・各種研修により事務処理能力、専門能力、経営上のバランス感覚の向上を支援

5. 館の管理その他に関する業務

- 館の管理**  
○施設等の管理業務：これまでの経験を生かし、リニューアル後の安定した維持管理、計画的な保守点検を実施
- 危機管理：災害対応力を備え、来館者・職員の生命及び後世に継承させていくべき文化資源を守る  
・お客様の安全確保：危機管理マニュアルに基づく対応、テロ等の人的災害への対策  
・展示品・収蔵品：安全な展示・収蔵、盗難対策  
・大規模災害発生時：都立施設に求められる一時滞在施設等の役割を適切に果たす

■地域等との連携の取組

あ・ら・かるちゃー文化施設運営協議会：渋谷、恵比寿、原宿地区の文化施設とのネットワーク強化  
恵比寿地区との地域連携：恵比寿ガーデンプレイス内の商業施設、NPO法人、企業等との連携